

## 令和2年10月6日開催 第四次長期総合計画基本構想特別委員会要旨

※審議会の検討用にまとめたものです。正式な要録は、小平市議会ホームページから閲覧できます。

開催日時	令和2年10月6日（火）午前9時から午後3時29分
開催場所	全員協議会室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員 13名</li> <li>竹井ようこ委員長 橋本久雄副委員長</li> <li>伊藤央委員 川里富美委員 さとう悦子委員 佐藤徹委員</li> <li>橋本孝二委員 福室英俊委員 細谷正委員 松岡あつし委員</li> <li>水口かずえ委員 山田大輔委員 幸田昌之委員</li> <li>・事務局 3名</li> <li>企画政策部長 企画政策部総合計画担当課長</li> <li>企画政策部政策課長補佐兼総合計画担当係長</li> </ul>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料1 （仮称）小平市第四次長期総合計画（素案）に対するパブリックコメントの実施結果</li> <li>資料2 （仮称）小平市第四次長期総合計画（計画案）への反映</li> <li>資料3 （仮称）小平市第四次長期総合計画（答申案）</li> <li>資料4 （仮称）小平市第四次長期総合計画（答申案）補足資料</li> <li>資料5 第四次長期総合計画基本構想特別委員会要旨</li> </ul>

《主な質問・意見・提案等》

### ■パブコメの実施結果に関して

- ・LINEでのパブコメをどう評価しているか。
- ・LINEでのパブコメは地域懇談会の代わりになったのか。最後素案の段階で地域懇談会ができなかったのは残念。
- ・LINEの全体登録者数に対して意見が少なかった。どう改善するのか。
- ・パブリックコメントの実施結果を受けて、9月24日の審議会ではどのような意見が出たか。

### ■計画全体に関して

- ・長期総合計画について、ほとんどの市民は知らない。
- ・「参加・協働・自治」の記載が少ないように感じる。
- ・協働の定義について共有する必要があるのではないかと感じる。協働については、市民と市ではズレがあると感じている。
- ・これまでの50年を踏まえ、現在の小平市の課題は何か。
- ・市制施行100周年まで小平市があるのか。12年後も自治体という概念が存在するのか。今の延長線上で作られている。
- ・手に持ったときに読みたいと思われるようなデザイン性を。

### ■将来像に関して

- ・課題が背景にあり、そこにリンクした将来像等の設定になっているか。
- ・めざす将来像「つながり、共に創るまち こだいら」は、想いも含めて市民に伝えてほしい。

#### ■基本目標Ⅰ（ひとづくり）に関して

- ・パブリックコメントも踏まえ、「子どもの権利（条約）」の文言を入れてほしい。
- ・どのような教育を目指すのか。12年後に選ばれる教育になっているのか。
- ・日本の子どもの幸福度は世界と比較して低下している。文化芸術には幸福度との関連があるのではないか。そういった視点を盛り込めないか。

#### ■基本目標Ⅱ（くらしづくり）に関して

- ・性的マイノリティは多様な考え方があり、全てを正しく理解できるのか。ほかにもマイノリティがある中で、これだけを取り上げること自体が差別。
- ・地域共生社会は個別の分野ではなく、まちづくりの基本となる考え方。

#### ■基本目標Ⅲ（まちづくり）に関して

- ・基本目標Ⅲのまちづくりでは、コロナを機によりコンパクトな地域内循環の社会に移行していくことをもっと強く出してほしい。
- ・基本目標Ⅲのまちづくりには、まちおこし、ふるさとづくりという視点も入っているべき。
- ・個人の生活を少し変えただけで地球温暖化が解決できるのか。
- ・都市計画道路は必要性自体が薄れてくる可能性がある。「必要に応じて」と加えてほしい。
- ・生活道路の整備に関する要望が多くある。取組の方向性をもう少し分かりやすく示してほしい。
- ・働けるまちにしていくということは大切。基本構想にもっと強く入れられないか。

#### ■自治体経営方針に関して

- ・自治体経営方針では「事務事業の厳選や聖域なき見直し」とあるが、どのようなイメージか。
- ・自治体経営方針の「これからの公共サービスの概念図」には情報の共有や市民参加の仕組みを作っていくということを書き込むとよいのではないか。
- ・市民等によるサービスとあるが、サービスという言葉に違和感がある。
- ・市民等によるサービスとは何をやるのか、具体的に何なのか。情報がないと進められない。プロセスもどうなのか。読み取りづらい。
- ・自治の拡大・深化を図るのであれば社会ニーズがビジネスチャンスになるという視点を盛り込んでいかないと、今と変わらない。
- ・大きな政府と小さな政府、12年間でどちらにふれていくのか。財政面で考えたとき、どのような未来を創ろうとしているのか。
- ・公マネが施設を減らすこと自体を目的とするのではないということは書き込むべき。公共の役割をきちんと踏まえてほしい。
- ・ICTやDXの観点が弱い。補足資料では触れているが、基本構想で弱まっている印象がある。小平市の方向性を示すべき。
- ・住民あたりの職員数からも、単純なコストカットだけでなく職員を増やしてはどうか。
- ・今後、今のセクションでは対応できないこと等も生じると思うが、2032年にはどのような体制になっているか。

#### ■基本目標横断プロジェクトに関して

- ・「自助」「共助」「公助」について、「公助」の役割が後退することのないように。
- ・コミュニティづくりについて、なり手がいなくなってくる中でどのように進めるのか。コロナで孤立しがちな方が明らかになった。そういった課題が書かれていない。

#### ■長期総合計画推進の考え方に関して

- ・市の現在の取組はSDGsとは結びつかないのか。今回わざわざ掲載した理由は。
- ・今後、KPIや達成目標などにSDGsを結び付けることになるのか。
- ・今後またコロナ禍のような非常事態が生じた場合には、柔軟な対応も可能と考えてよいのか。